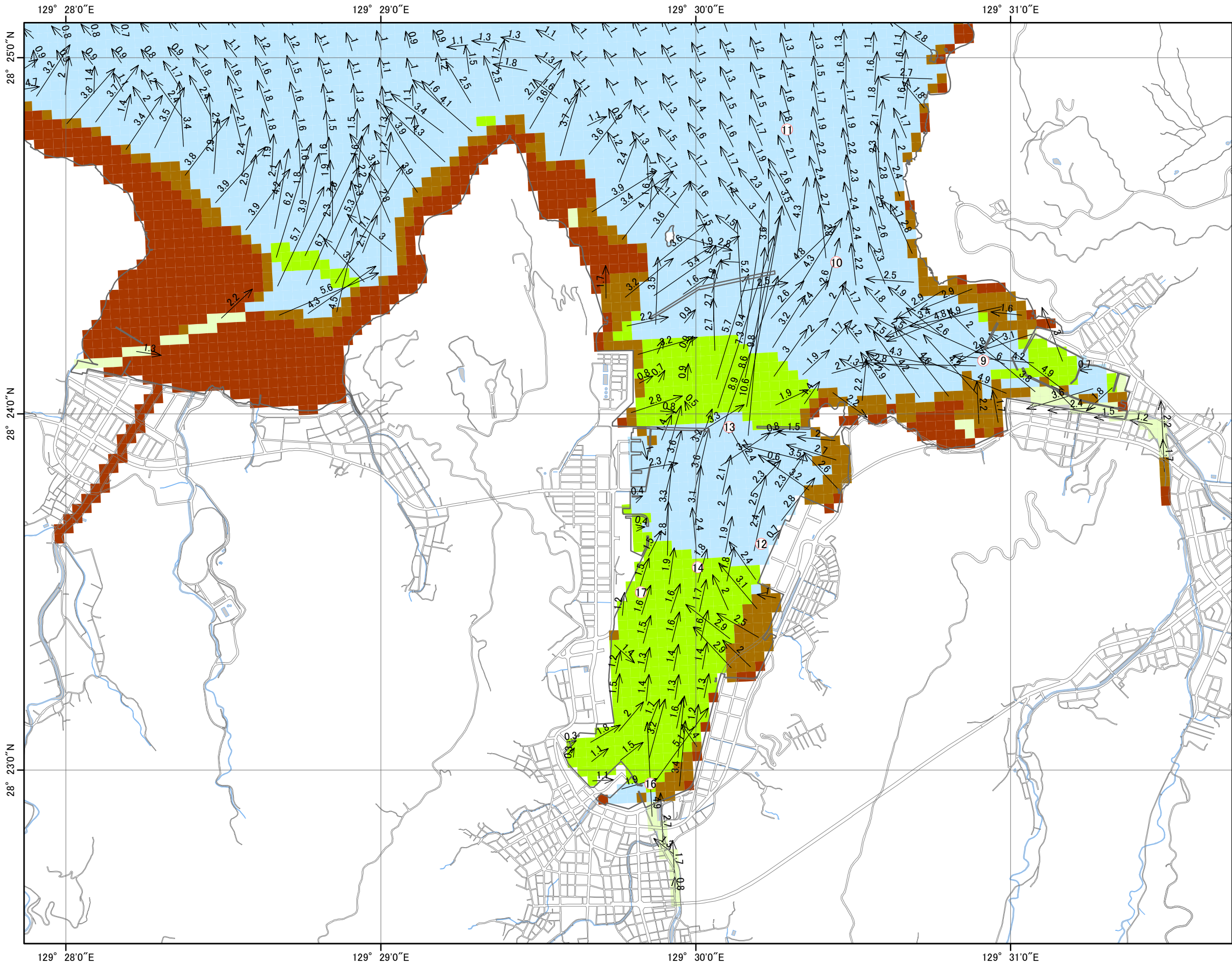


奄美大島北部 名瀬港 津波防災情報図 (引潮図)

(南海トラフ巨大地震ケース⑪)

計算条件 : 最低水面 (零位)
 隆起量 : 平均 -0.04m
 Zo : 1.15m
 備考 : 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系 : メルカトル図法
 測地系 : 世界測地系 (WGS84)



凡例

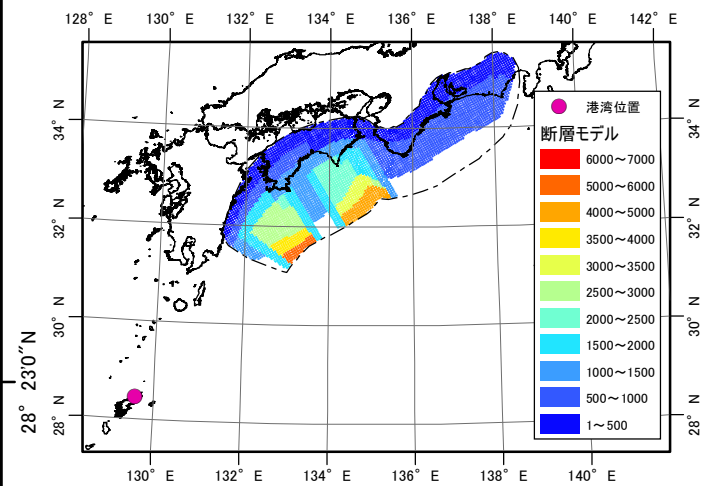
- 最大水位低下
- 2~最大2.8m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
- 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル

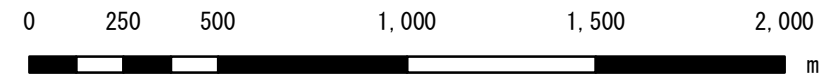


ケース⑪「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.6 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	11.2
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第二次報告) (平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)



作成機関 : 海上保安庁
 防災情報図作成年月 : 令和元年6月 (初版)
 地形データ作成年月 : 平成31年3月 (初版)